



『トクシマ・アンツアイガー』

第2巻

第11号

徳島 1915年12月5日

イスラム教に対するドイツの立場（2）

イスラム世界は益々ヨーロッパの諸強国、つまりキリスト教に依存してきている。イギリス、フランス、オランダ、ロシアの巨大な植民地の大部分にはイスラム教徒が住みついている。

独立を失ったことを深く悲しみ、イスラムの影響の後退を今日全イスラムが嘆き、トルコによって復讐が成し遂げられることを期待している。この期待を強めるためにトルコがあらゆることをしたのは自明である。何故ならそれによってその政治的な力は、純粹に軍事的な力との関係に合致する程度を遥かに超えて増えている。今日イスラム世界の至るところで不穏な状態が沸き起こり、渦巻いているのは事実だ。モロッコ人はフランスの植民地部隊と交戦して成果を上げている。トリポリのアラビア人諸部族はイタリア人をこれらの地域から見事に追い出した。エジプトではイギリス

支配に対する反乱が発覚した。アラビア人はアデンを攻撃し、ペルシア人はイギリス及びロシアの後見を振り払おうとしているように見える。コーカサス地方ではイスラムに帰依する諸部族がロシアに対して立ち上がり、インドにおける蜂起は、届いている情報に誤りがなければ、大規模な範囲になっている。たとえ我々が全てではないにしても、これらの出来事を「神聖な戦い」への呼びかけ、つまりカリフの敵たちに対する全イスラム人の戦いに起因を求めようとしなくても、同じ信仰を持つものたちの列からスルタンの元へ、夥しい数の重要な同盟者たちが来ていることは確かなことだ。

ところで、この動きをドイツと結びつける点はどこにあるのだろうか？ また我々はドイツとイスラムの友情の基盤をどこに求めねばならないのだろうか？ 我々がイスラム教それ自体を、つまり宗教として支持することはほとんど言及する必要はなく、イスラムとの我々の良好な関係は別な基盤をもっている。

我々の植民地にはイスラム教徒といえる者たちは住んでいないという事実がある。すなわち我々は、ヨーロッパの植民地勢力の中でイスラム教徒を支配下に置かない唯一の存在である—ドイツ東アフリカにおける少数のイスラム教徒はこの際重要ではない—。文化的に優位に立っているイスラム教徒のいる植民地を獲得することは、我々の政策から意識的に避けられてきた。近東での我々の政策はちょうどここ、すなわち中国における政策と全く同じである。それは扉を開いた政策、すなわち国家の自立を維持して、我々はその国家の中で政治的、経済的に他の国民と同等の権利をもつ。

この傾向は、我々のモロッコ政策全体を貫いている。仮にもしドイツの意思に沿って動いたならば、モロッコは今日なおそのスルタンの元で自立していただろう。残念ながら我々は皇帝のタンチャ訪問にもかかわらず、またモロッコの自立維持へのさまざまな会議での我々の精力的な支援にもかかわらず、我々に対して一貫して敵対する他のヨーロッパ諸国のせいで、この国家がフランスの植民地になることを阻止することが出来なかった。

あらゆることをねじまげてこじつけたにも拘わらず、モロッコは大戦勃発前には何一つ変わっていなかった。

トルコを政治的、軍事的に強化する我々の努力はずっと幸運だった。有能なドイツの将校がこの国へ赴いて、トルコ軍の新組織編制とその育成の手助けをした。ドイツの資金とドイツの技術によって、戦略的に重要な鉄道の建設がなされた。我々の助言が望まれる至る所で、トルコは自由な裁量をまかせてくれている。皇帝は度々コンスタンチノーブルを訪問して、トルコと我々の友情を外国向けにも強固にした。

我々のモロッコ支援と同様にトルコ支援は、全イスラム世界で大きな反響を呼び起こし、コンスタンチノーブルのスルタンと並んで「ドイツのスルタン」が、我々の皇帝の称号と同様に今日全イスラムにおいて尊敬されている。イスラムに対する我々の政策の正当性は、この戦争という出来事によって充分証明されている。

日本の宗教（２）

神道の寺院〔宮〕は、たいてい高く聳える杉に囲まれた森にある。その外観は簡素で飾り気はなく、建物は日本人の太古の家に似ていると言われる。寺院に至る道では最初の印として、木製、銅製または鉄製の絞首台のような門〔鳥居〕に遭遇する。その目的と起源は今日に至るまでまだ究明されていない。ある甚だ信じ難い解釈では、その目的はこう説明されている。寺院の鳥がいこいの場所として用いたので、その名が鳥居つまり鳥の休息する所になった、と。鳥居からは石燈籠の並木が寺院へと通じる。寺院の入り口を見守っているのは石製または金属製の２匹の獅子ないしは犬である。それらは悪霊を追い払うのだという。寺院に通じる階段の脇に石製の大きな桶があって、参拝する前に両手を洗うための水が入れてある。階段の上の突き当りには、喜捨を受け容れるための切り口ないしは格子の

ある箱がある。寺院を訪れる者は寺院の中には立ち入らず、その前で留まる。神に仕える者だけが中の部屋に入り、捧げ物を供えるが、そこにあるのは裁断した白い紙切れを箒のように束ねた棒、御幣だけである。時に仏教から取り入れた鏡ないしは水晶の玉が神の清浄、深遠、及び力の象徴として置かれている。常に閉まっている後方の部屋は、神の住まいとしての役目をもつ。そこには神の目印である鏡、剣及び珍しい石やその他の崇高な物がしまっており、民族の聖域として、あるいは個人個人の祈りとして広範な目的で頻繁に訪ねられる巡礼地としての寺院には、たいいてい宮の脇に更に一連の建物、つまり宝物庫、堂守の家、神秘に満ちたお神楽の舞台、文庫、絵馬や錦絵のための空間、神馬用の厩がある。神道の寺院は、ある一定の期間が過ぎると新しく建て直される。仏教寺院のまばゆいばかりの手本の影響を受けて、多くの神道寺院も外面的に豊かな装飾を施した。

神道と並んで目下、仏教は日本において最も広く行き渡った宗教である。仏教は紀元前 500 年頃に、インドの王族の息子ゴータマ・シッダルタによって打ち立てられた。彼の教えによれば、世界の創造者は存在せず、世界は永遠に変転して 4 つの段階を駆け巡る。それは形成、発展、衰退及び破壊の段階である。人間の魂は不死である。罪のある人間はその死後に動物として再び蘇るか、または浄化と純化のために地獄に落ちる。魂は地上で休むことなく、命が徳を積んで解き放たれるまでさ迷う。やがて魂は地上のあらゆる絆か解き放たれてニルヴァーナへ入り込み、そこであらゆる地上的なものから引き離された至福の存在の中で、仏陀ないしは光明を受けた者として動くことはない。完全な解放を見出すことが出来る者とは、到達した自己の神性に満足せず、善なる思考の注入とより深くに立脚する存在の意思の強化によって、ニルヴァーナへの飛翔を容易にする者のことである。

つづく

スポーツ

先月 28 日の日曜日、我々はスポーツ週間を終えることが出来た。天候は申し分がなかったものの、風は幾分強かった。それで残念ながら結果としては、ジャンプの成績、取り分け走り幅跳びの成績は、練習を見て期待していたほど良くはなかった。他方でしかし今回も、ここではまだ見たことがなかった成績が石投げと棒高跳びにおいて示された。

全結果を公表することはくど過ぎるだろう。それ故六つの競技の各種目での最優秀成績を挙げることで満足せねばなるまい。

石投げではシュコルー等砲兵が 7.24 メートルで一等になり、キーヤドルフ二等砲兵が 7.11 メートルで二等になった。

棒高跳びで 1 位になったのはプリンツ一等兵曹で、成績は 2.75 メートルであった。少し前まで他の参加者 6 人が、彼のこの最高成績の手前まで近づいていたことが分かったのは嬉しいことだった。

走り幅跳びの最優秀者は同じくプリンツ一等兵曹で、5.63 メートルだった。

砲丸投げでの勝者はラグーゼ二等砲兵の 9.57 メートルの 20 点だった。

走り高跳びは、1.52 1/2 メートルの収容所のレコード記録でグレーベ二等砲兵が優勝した。

3 段跳びでは、1 位の栄光を二人が分け合った。つまりプリンツ一等兵曹とラグーゼ二等砲兵である。

徒手体操は大規模に、かつ実に爽やかで申し分なく行われ、そのため参加者の大部分には 9 点ないしはそれ以上を記入することが出来た。

6 種目での高得点者は 110 点、それに達したのは以下の者たちである。

1. プリンツ	87	11. クノープ	54½
2. ラグーゼ	81	11. ハウン	54½
3. バウアーフ	77½	12. シュマレンバッハ	50
4. モンゼス	68	13. グレーベ	49

5. ゴルダーマン	67½	14. ベンシュ	49
6. アウアー	66½	15. キーアドルフ	48
7. パウアー	62	16. ヒュープナー	44
8. カウマンス	59	17. ブライトバッハ	43
9. ローデ	57	18. ブロンナー	40
10. オール	56		

夕方7時のコンサート前に賞品授与式が、デュムラー海軍大尉の挨拶を皮切りに行われた。収容所将校及び准士官から前週のスポーツ週間の時と同様に、沢山の賞品—陶磁器、漆器及びブロンズ製品—が寄贈された。ひょっとすると今回は幾分多すぎた感じもするが、賞品を手にした面々の喜びを眼にした者は、多くの者たちに喜びが与えられたのではとの感想を抱いたであろう。上海のスポーツ愛好家からはシュミッツ予備一等砲兵の仲介で、5個の美しい錫製のコップが賞品として提供されたことを、我々はこの場で心から幾重にも感謝の念を表明したい。収容所の印刷所の手になるシュミット二等砲兵の図案による美しい表彰状のことも忘れてはならない。

要するに我々は今回のスポーツ週間についてもこう言えよう：「成果のあったスポーツ週間だった」。

体操協会

木曜日に我々の収容所は異例なほどの活況を呈した。つまり我々の新たに設立された体操協会が最初の体操の時間を挙行了した。視線をどこに向けようとも体操チームが活動していた。こちらで棒高跳びをしているかと思えば、あちらでは砲丸投げ、さらに後ろでは徒手体操や走り高跳び、別の体操チームは熱心に新しい平行棒を使っていて、「中年組」は重量挙げに

挑戦していた。

この新鮮で、生き生きした活動を観察していた者には多分、我々の体操協会にも終に、身体を動かす運動をしたいという、収容所の中を支配していた希望に向かう何かが成し遂げられた、との思いがこみ上げてきたであろう。75名の参加者という数字がそれを物語っている。

確かに昔から我々のスポーツ行事は、健康的な身体の活動のために行われてきた。しかしそれは多かれ少なかれ、かつてスポーツを行ってきた者だけを念頭にしてきた。一方、体操協会の大きな利点は、6チームに分けられているどのチームにも、初心者チームにすら、我々が特に必要としている健康的に身体を動かす機会を与えていることにある。しかしそれを超えて協会は更に努力をしている。つまり真の体操的な仕事を果たそうと望み、その会員は体操をすることを学ぶはずで、自己の進歩への喜びとともにやがてまた、じきにその喜びは我々ドイツの体操で育つことであろう。そして多くの者はおそらくここで学んだことを、後に故郷の多くの体操協会でも価値あるものにして発展させるであろう。

現在の道具ではじきに甚だ不足することになろう。鉄棒のバーが一本注文に出してあり、跳び箱、棒高跳びのポール、体操用の棍棒も更に調達する必要がある。

このように我々の体操には豊かな活動の分野が開けている。我々は会員数が更に多くなることを期待している。体操をしない者にとっては、初心者がまだ多い内に出来るだけ早く加わることが勧められる。若い協会に我々が望むことは、ドイツ体操の次のモットーに叶ったその精神と意味での良き発展である。

「清新で、真剣に、嬉々として、伸び伸びと！」¹

1 ドイツ語の原文では "Frisch, fromm, froh, frei!" で、fr で始まる語が4つ連続する。

カバレット（寄席）「ミモザ」

我々の収容所にあるのはコンサートと演劇だけではない。カバレットショーも出来上がった。カバレット「ミモザ」は今晚、結成上演会を行うが、収容所中が大きな関心をもって見守っている。

主催者側からは以下のような案内が来ている。

今月 5 日にすでに予告したように、カバレット「ミモザ」の第 1 回の夕べが行われる。7 時半開演。入場券はホール入り口にて無料で配布される。上演は場所にも配慮したカバレットの中で行われるので、ホール責任者と劇場係りの諸指示に従うことを要請する。机と椅子の配置は、芝居がどの席からも見る事が出来るように按配される。

更にお願ひすることは、日曜午後 3 時から 4 時までメインリハーサルを行うこと出来るように、またすでに 5 時に行われる夕食後に、可能な限りホールを空けて、それによって机の移動を可能にして欲しいことである。

劇場主宰者

トランプ競技会

先週始めのブリッジ競技会に続いて、賞品付スカーツ競技会が行われた。参加者はまたしても実に多く、戦いは熾烈だった。結果は以下の通りである。

兵曹グループ — 賞品付スカーツ

1 等 リュールス二等兵曹（960 点）

2 等 クランツ二等兵曹（736 点）

兵卒グループ — 賞品付スカーツ

1 等 パウアー二等砲兵（1035 点）

2 等 シンメル二等砲兵（1021 点）

勝利者の方々に心からの祝意を！賞品の配分はまだ行われていない。というのは2等賞品のソーセージがまだ出来上がっていなかったからだ。その間雄鶏は日々太ってきている。幸運な勝利者たちが雄鶏に、愛情に満ちた関心を寄せていることに起因する。

来 訪

今月2日、ドレンクハーン氏が再び我々の収容所を訪問してくれた。今回残念だったことは、収容所事務室でデュムラー大尉殿と話をするだけで、最初の訪問の時のように収容所に長く居ることが認められなかったことだ。我々みんなはこのやり方を甚だ遺憾に思っている。何故なら我々は出来ればこの機会を利用して、ドレンクハーン氏がもうすでに一年以上前から、日本の俘虜収容所にいるドイツ人の利益のために示された愛情と犠牲に、じかに心からの感謝を伝えたいと思っていたからだ。今度も氏はデュムラー大尉殿と更なる援助について語るために、再びこの骨の折れる旅の労苦を引き受けられた。話し合いの結果についてデュムラー大尉殿は既に報告してくれたので、ここでもう一度個々の点について立ち入ることは必要ではない。また援助委員会は更に我々のために最善の配慮をし、我々の収容所を遥かにずっと耐えうるものにする、あらゆる軽減措置を施してくれるであろう。日本にいる我が愛する全ての同国人が、その援助に感謝する機会をやがて示してくれることを我々は期待している。

展覧会

日曜の賞品配分に関連してデュムラー大尉殿は、この収容所内で製作された物を対象にした展覧会を開催することを提案した。

この提案は熱烈な喜びで迎え入れられ、また我々の中の多くの技術巧者によって喜びをもって歓迎された。すでに多くの機会にこれらの工芸家は、その巧みな作品を成し遂げてきた。我々は実に見事な蒸気船「膠州」と昨年のクリスマスパーティーを思い起こすのみである。当時、我々はここ徳島に来てやっと数日が経ったばかりにも拘らず、あっという間に実に見事な部屋の飾りつけが出来上がった。この匠の一切に今度は、展覧会によって豊かな活動の場が示される必要がある。作業の軽減のためには、ハンマー・ヤスリ・のみ・はんだ付け用具、叶うならば万力を備えた小さな工作所が設けられねばならない。ドレンクハーン氏は親切にもこれらの品々を可能な限りジーメンス＝シュッケルト社から調達すると約束してくれた。

やがて多分誰もが自由に使えるこの工作所から、多くの素晴らしい作品が生み出されるであろう。

葉書きの便り

先の徳島旅行の際、宣教師シラー博士殿は、娘さん及びドイツ人女教師ゲーデケ嬢を伴っていた。

シラー博士とご婦人を喜ばせる為に我々のオーケストラは、蒸気船の出発に際していくつかの作品を演奏し、我々の将校たちは彼らに花とお菓子を蒸気船に届けた。

以下のような葉書が今届いた。

「徳島への旅

それはやはり実に素敵でした！」

ここでどんな瞬間にも人が歩いたり、

立ち止まったりすることが耳に入ります。

しかし全ては半分も素晴らしくはなかったでしょう、

あなた方が贈り物によって
私たちの生活をかくも
甘くかつ素晴らしいものにしてくれなかったなら。
あなた方のご親切に、
見事な花とお菓子に感謝いたします。
もしこれほど遠くなければ、
私たちはもう一度訪問したいところです。
音楽に対して特に感謝します、
実直な音楽家の方々、
あなた方の魅力的な技の名声は
あらゆる所に鳴り響いています。
あなた方皆さんに私たちが望むことは、
ただちに平和が訪れて、
故郷へ戻り、
あらゆる束縛から解き放たれることです。

ドイツ式の挨拶をこめて
クララ・ゲーデケ及びマルグレート・シラー、
記譜係エルナ・シラーから心をこめて

豚の飼育

このところ我々の収容所の、厳密に言う和我々の農業部門の家畜保有量は、新たな実に喜ばしい増加を見せた。しばらく前からすでに鳥小屋の住人たちは、その活発な生命と活動で我々を喜ばせているが、その中には雄鶏の「ラーケル＝カーケル」がいる。2,3 日前に鳥小屋の隣に、またしても新しい立派な建物、豚小屋が造られた。住居が完成直後にもう 9 匹の見事な黒い豚の姿をした住人が入居した。

もちろんその新しい企画は実に前途有望な出だしである。見事にまるまる太った動物を一目見ただけで、多くの享受者は実に満足そうに微笑む。優良種の黒い新来の客の繁殖と肥育への展望は、シェコルー等砲兵が引き受けた。

しかし我々の屠場とソーセージ工場はしばしば効率を高める試みをしていたが、益々大きな広がりを見せている。かくして木曜日に若い牛一頭が狩り出され、もう数日を数えるだけの残りの命の代わりに豚の所へ預けられた。

それ故我々は、我々の健康に関することでもあるが、落ち着いて来たるクリスマスの祝日を眺めやり、また我々の新しい企画に対して幸運と更なる成長と繁栄を望むことが出来る。

今日のお勧め品

モルタデッラ	ポンド	40 銭
ガーリックソーセージ	ポンド	35 銭
ウインナーソーセージ	2 個	7 銭
オットー・ハンナスキー		

チェス・コーナー

(駒の略語 K = キング、D = クイーン、L = ビショップ、
S = ナイト、T = ルーク、B = ポーン)

第 65 問の解答

1. Dc1 - a3 Kc5 - d6
(f4 または d5 - d4)
2. La7 - b8 詰み
1. Kc5 - d4
(Sc5 任意で)
2. Sb4 - c6(- d3) 詰み

第 66 問の解答

1. Tb2- b4 Ka6 x a5
2. Tb4 - b5 + Ka5 - a6 (a4)
3. Dd2 x a2 詰み
1. Sa2xb4
2. Dd2 - b2 Ka6 x a5
(S も任意で)
3. Db2 - a3 (-b5) 詰み
1. Sa3 - a1(c3)
2. D x S Ka6 x a5
3. D a3 へ、詰み

正解を送ってきたのはヨーゼフ・ヴェーバー。

第 67 問

白 : Kb5, Dg6, Tc8, Ld2, Sb6, h6, Bb3, d5, c2, b4

黒 : Ke5, Se3, e6, Bb4, d6, d7, c4

2 手詰め

第 68 問

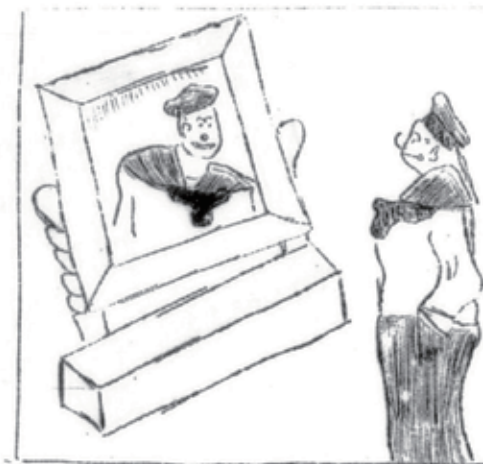
白 : Kb5, Lc5, h3, Sf3, n5, Bc6, g4

黒 : Kd5, Be6, c7

3 手詰め

U ボートの獲物（最終回）

U ボートの獲物の価値を我々に最もよく認識させるものは、多分長い職業経験をもつある海軍将校の名言であろう。ベルギーの海岸で我々の将軍の一人に、海軍大尉が来ることを告げる報告がもたらされた。「拿捕船を引き連れて Y から Z ラインにツェーブリュッゲは舵を取る」。将軍は電文を読んで頭を振る。「無電の文は正確に読み取れない」。その紙を受け取る将校もまた覚束なく答える。「電文は正確に読み取れましたが…」。「フォン・F. 海軍大尉はブランデーを飲みすぎたのだろう」と将軍は断じ、なおも新たな電文が届くかもしれない、悲しい場合のことを思い悩んでいる。「ツェーブリュッゲは二隻の拿捕船を連れて Z ラインに舵を取る！」「やはり、そうだ、彼は頭が狂っている」と将軍は言う。しかし気分爽快意気揚々で U ボートの司令官は、夥しい積荷と服装がまちまちの乗員を連れて到着する。兵役能力のあるベルギー人と多くの乗客を除いて、汽船は歌を歌って喜ぶパリの安キャバレーの一座をもロンドンへ運ぶことになった。



シュピーゲル（鏡）

『トクシマ・アンツアイ
ガー』第2巻第11号
(1915年12月5日)
ユーモア付録

賞品の分配

見事に成功した先週のスポーツ祭典ではプレゼントが贈られ、
勝利者は賞品と賞賛によって種々称えられ
数多くの贈り物が惜しみなくたっぷり与えられ
そのためにその晩は誰にとってもおそらく喜びに満ち溢れて
終わった。

大きな重い箱だって上機嫌を惹き起こし、
上等のウイトとして周囲から苦笑された。
外見は新しくて感じがいい脚を覆うものが
しかし中は穴だらけの慈善品だったことは痛ましかった。
ちょっと目には勝利者は喜んでいて好感が持てる、
がしかしそれは粗雑な冗談だったなんて、起こっては
ならないことだったのに！

時代に合った接吻バラード



世界では様々なキスがあり
僕はそれを思い浮かべた

エレナは国旗の色にキスをする



新兵は古参兵にキスをする



ガリー・デズリースは新兵にキスをする



ロシア人は溢れる涙でキスをする



ダヌンツィオは聖なる大地にキスをする



ジョフル氏は地球の真裏に住む人にキスをする



シュルツェ後備兵はこれを読んだ時
ひどく惨めになった。



「さあ、お前ら、見てもらおうか。ドイツの国民軍兵士たちが
どんな風にキスをするのか」と彼は言う。
そしてこのキスが明らかに
最良の効果があったことが分かる。